

未来の技術者・科学者の「卵」を応援

「財団法人エヌエフ基金は、科学技術の進歩につぐ教育現場における基礎的な教育研究を広く支援・顕彰し、併せて、社会の発展を促すための人材育成、支援をこの志を以て、約20年間にわたる顕彰プログラムの一環として「エヌエフホールディングス」を通じて実施されて、今更なる一歩を踏み出す意気込みが感じられます。誠にありがとうございます。貴財団に比べ多くは日本産科産学や産官産学連携による人材育成に注力されていると承知しております。貴財団の活動が、未来の「卵」や「種」を育てていくことを願っております。

エヌエフ基金

エヌエフホールディングスは、1971年にエヌエフエナジー、エヌエフエレクトロニクス、エヌエフシステムズ、エヌエフ環境等の4事業を統合して、2013年にエヌエフホールディングスとして再編し、現在に至ります。その間に、エヌエフエナジーは、低価格・高品質な再生可能エネルギーの供給を目的として、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電などの再生可能エネルギーの事業に積極的に取り組んでまいりました。エヌエフエレクトロニクスは、IoT・AI・ビッグデータの分野で、エヌエフシステムズは、エヌエフ環境は、環境技術の分野で、それぞれが社会的課題の解決に貢献しています。



代表理事

辻 毅 一郎氏

エヌエフホールディングスは、エヌエフエナジー、エヌエフエレクトロニクス、エヌエフシステムズ、エヌエフ環境の4事業を統合して、2013年にエヌエフホールディングスとして再編し、現在に至ります。その間に、エヌエフエナジーは、低価格・高品質な再生可能エネルギーの供給を目的として、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電などの再生可能エネルギーの事業に積極的に取り組んでまいりました。エヌエフエレクトロニクスは、IoT・AI・ビッグデータの分野で、エヌエフシステムズは、エヌエフ環境は、環境技術の分野で、それぞれが社会的課題の解決に貢献しています。

エヌエフ基金は、エヌエフホールディングスの活動の一環として、エヌエフエナジー、エヌエフエレクトロニクス、エヌエフシステムズ、エヌエフ環境の4事業を統合して、2013年にエヌエフホールディングスとして再編し、現在に至ります。その間に、エヌエフエナジーは、低価格・高品質な再生可能エネルギーの供給を目的として、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電などの再生可能エネルギーの事業に積極的に取り組んでまいりました。エヌエフエレクトロニクスは、IoT・AI・ビッグデータの分野で、エヌエフシステムズは、エヌエフ環境は、環境技術の分野で、それぞれが社会的課題の解決に貢献しています。

若手研究者の研究活動を支援・顕彰



第13回(2024年度)「エヌエフ基金研究開発奨励賞」研究発表会・表彰式

知の相互作用へ研究者に議論の場開設

エヌエフ基金は、エヌエフホールディングスの活動の一環として、エヌエフエナジー、エヌエフエレクトロニクス、エヌエフシステムズ、エヌエフ環境の4事業を統合して、2013年にエヌエフホールディングスとして再編し、現在に至ります。その間に、エヌエフエナジーは、低価格・高品質な再生可能エネルギーの供給を目的として、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電などの再生可能エネルギーの事業に積極的に取り組んでまいりました。エヌエフエレクトロニクスは、IoT・AI・ビッグデータの分野で、エヌエフシステムズは、エヌエフ環境は、環境技術の分野で、それぞれが社会的課題の解決に貢献しています。

エヌエフ基金は、エヌエフホールディングスの活動の一環として、エヌエフエナジー、エヌエフエレクトロニクス、エヌエフシステムズ、エヌエフ環境の4事業を統合して、2013年にエヌエフホールディングスとして再編し、現在に至ります。その間に、エヌエフエナジーは、低価格・高品質な再生可能エネルギーの供給を目的として、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電などの再生可能エネルギーの事業に積極的に取り組んでまいりました。エヌエフエレクトロニクスは、IoT・AI・ビッグデータの分野で、エヌエフシステムズは、エヌエフ環境は、環境技術の分野で、それぞれが社会的課題の解決に貢献しています。

脱炭素社会の実現に貢献

NF 産業用パワーコンディショナ
再生エネルギー電池を組み合わせることで、エネルギーシステムを効率的に運用

50 kVA
可エネ パワコン

水素製造用直流電源
オンライン水素ステーションからメガワット級水素製造プラントまで

水素
水素式

Chiyoda

交流電源

直流電源

研究開発・実証実験から
社会実装までサポート

計測制御デバイス関連事業

電源バヨ制御関連事業

環境エネルギー関連事業

■ エヌエフグループの事業 ■
校正・修理事業